

令和5年

壱岐市議会定例会6月会議

# 行政報告

壱岐市

# 目 次

<b>1. はじめに</b> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
（1）環境大臣の国立公園等の視察について・・・・・・・・	2
（2）再エネ海域利用法に基づく情報の提供について・・・・・・・・	3
（3）ふるさと納税の推進について・・・・・・・・	3
（4）市制施行20周年記念事業（NHKのど自慢）について・・・・・・・・	4
（5）モンゴル国チンギス市との交流について・・・・・・・・	5
<b>2. 交流人口の拡大</b>	
（1）観光振興について・・・・・・・・	6
<b>3. 産業の振興</b>	
（1）農業の振興について・・・・・・・・	8
（2）水産業の振興について・・・・・・・・	9
<b>4. 市民</b>	
（1）新型コロナウイルスワクチン接種について・・・・・・・・	10
（2）市税等の収入状況について・・・・・・・・	11
（3）長崎県壱岐病院の精神科病床再開について・・・・・・・・	12
<b>5. 教育</b>	
（1）長崎県選抜チームの全国大会優勝について・・・・・・・・	13
（2）令和5年度の市内小・中学校の教育活動について・・・・・・・・	13
（3）壱岐市離島留学・いきっこ留学検討部会の設置について・・・・・・・・	14
<b>6. 防災、消防・救急</b>	
（1）防災対策について・・・・・・・・	14
（2）消防・救急について・・・・・・・・	15
<b>7. 議案説明</b>	
（1）補正予算について・・・・・・・・	16
（2）その他の議案について・・・・・・・・	16
<b>8. おわりに</b> ・・・・・・・・・・・・・・・・	17

# 行政報告

令和5年壱岐市議会定例会6月会議

## 1. はじめに

本日ここに、令和5年壱岐市議会定例会6月会議にあたり、3月会議以降、本日までの市政の重要事項、及び今回補正予算に計上した主な内容等についてご報告申し上げ、議員皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

はじめに、令和5年春の叙勲が発表され、本市から2名の方が受章されております。元壱岐市議会議員の町田<sup>まちだ</sup>正<sup>しょう</sup>一<sup>いち</sup>様が旭日双光章を、保護司の榊原<sup>さかきばら</sup>伸<sup>しん</sup>様が瑞宝双光章をそれぞれ受章されました。今日まで築かれたご功績に、深甚なる敬意を表しますとともに、この度の栄誉を心からお慶び申し上げます。

次に、この度、消防本部において部下職員等に対するハラスメント行為が発覚いたしました。

平成25年から昨年までに少なくとも7名に対し、業務上必要の相当な範囲を超えた言動、威圧的な態度で叱責する等が行われたものであります。

非違行為を行った職員には、任命権者である消防長から減給10分の1、3か月間の懲戒処分を行い、併せて上司にあたる職員4名に対し、管理監督責任を問い処分を行っております。

私からは、消防長に対して、任命権者及び管理監督者としての処分とともに、服務規律の徹底と綱紀肅正を改めて厳しく指示したところであります。

このような不祥事を起こしたことは、全体の奉仕者たる公務員にあるまじき行為で誠に遺憾であり、市民皆様に心からお詫び申し上げます。

今後、二度とこのような事が起こらないよう、再発防止に取り組むとともに、職員一丸となり、市民皆様の信頼回復に努めてまいります。

また、壱岐イルカパーク&リゾートにおいて飼育しておりましたイルカ1頭が、6月14日未明に死亡いたしました。本年2月のイルカの死亡事故を受け、指定管理者に対しては、イルカの飼育管理に万全を期すよう指示しておりましたが、残念な結果となってしまいました。死因につきましては現在調査中であります。

本年に入り、イルカの死亡事故が続いており、施設の存続に危機感を覚えているところであります。今後は、一刻も早く死因を特定するとともに、指定管理者と協議を重ねながら、本市の主要観光施設として、飼育及び施設管理の改善策を講じてまいります。

それでは、3月会議以降、本日までの市政の重要事項等についてご報告申し上げます。

### **(1) 環境大臣の国立公園等の視察について**

5月2日に、壱岐対馬国定公園の視察のために にしむら あきひろ 西村 明宏 環境大臣がご来島されました。

西村環境大臣との意見交換には、本県選出の かとう りゅうしょう 加藤 竜 祥 衆議院議員、やまもと けいすけ 山本 啓介 参議院議員もご同席され、本市の脱炭素の取組について説明と意見交換を行ったところであります。

内容としましては、水素貯蔵を活用した再生可能エネルギー導入

拡大の実証研究、洋上風力発電導入可能性の検討、第三者所有モデルを活用した公共施設への太陽光発電設備導入、藻場再生とブルーカーボン活用の取組についてご説明申し上げ、西村環境大臣には、特に藻場再生の取組についてご興味を持っていただき、非常に有意義な意見交換となったところであります。

国を挙げて脱炭素の取組が進められている中において、西村環境大臣に本市の取組を目にさせていただき、様々なご助言等をいただきましたことは、今後の事業推進の大きな活力となるものであります。

## **(2) 再エネ海域利用法に基づく情報の提供について**

令和元年度から2年度にかけて行われた長崎県の「洋上風力発電に関するゾーニング実証事業」を引き継ぎ、令和3年度以降、本市周辺海域での洋上風力発電の導入可能性の検討を進めてまいりました。

県のゾーニング実証事業で設定された周辺海域の候補エリアから、市内漁業関係者をはじめとする先行利用者等の皆様と意見交換を重ね、併せて利害関係者の皆様の理解促進に取り組んできたところであります。

本年3月に開催した洋上風力発電等導入検討協議会において、関係者の皆様との協議等で示された意見を「配慮すべき条件」として整理したものを付したうえで、導入可能性エリアを県へ情報提供することについて、構成員皆様のご承認をいただきましたので、再エネ海域利用法に基づいて県へ情報提供を行いました。

## **(3) ふるさと納税の推進について**

ふるさと納税の令和4年度実績は、寄附件数22,464件、寄附

総額7億3,939万円、対前年比11,169件、約3億8千万円の増となりました。

増加の主な要因は、令和3年度から高い専門知識を持つ事業者へ業務委託したことによる効果が大きく、特に寄附される方のニーズに合った魅力的な返礼品開発に努めたこと、及び新規参画事業者の開拓を図ったこと等の成果と捉えております。

一方で、自治体間競争が年々激化しておりますので、委託業者及び壱岐市ふるさと商社との連携強化を図るなど、貴重な自主財源となるふるさと納税の本年度目標額10億円の獲得に向け、さらなる推進を図ってまいります。

また、ケーブルテレビや広報紙を活用して制度の周知を積極的に行ってまいりますので、市民皆様には島外にお住まいのご親族や友人・知人の皆様への寄附の呼びかけにご協力賜りますようお願い申し上げます。

企業版ふるさと納税については、令和4年度に株式会社ファウンテック様、株式会社パークホームズ様、金子真珠養殖株式会社様、九州郵船株式会社様の4社から合計1,400万円のご寄附をいただいております。その財源を壱岐ウルトラマラソンをはじめ各事業の推進に有効活用させていただいております。本年度も、本市にゆかりのある企業、各壱岐の会の皆様をはじめ、本制度の幅広い周知に努め、さらなる寄附の推進を図ってまいります。

#### **（４）市制施行20周年記念事業（NHKのど自慢）について**

市制施行20周年記念事業の一環として、NHK全国放送公開番組

「NHKのど自慢」が、7月2日、日曜日午後0時15分から午後1時まで、壱岐の島ホールで開催されます。平成30年7月以来、5年ぶり4回目の開催であり、今回は石川 さゆり さん、大江 <sup>おおえ</sup>裕 <sup>ゆたか</sup> さんがゲストとして出演されます。

300名を超える応募者による予選会及び当日には、市民皆様のご自慢の歌声をご披露いただきますとともに、壱岐市を全国そして海外に広くPRできる絶好の機会と捉え、市制施行20周年記念にふさわしい番組として、市民皆様一体となって盛り上げていきたいと考えております。

この他にも、市制施行20周年を記念した様々な行事、イベント等を実施し、島内外へのPRと交流人口及び関係人口の拡大に繋げてまいります。

#### **(5) モンゴル国チンギス市との交流について**

5月20日から22日にかけて、在福岡モンゴル国名誉領事をはじめ、モンゴルでサービス業を営んでいる方々が、本市において研修ツアーを行われ、市内のスーパーなど商業施設を中心に視察され、意見交換の中で、福岡モンゴル国名誉領事から、チンギスハンの生誕の地であるチンギス市をご紹介いただきました。チンギス市は、平成25年に改称された市で、チンギス市長から、来年は元寇文永の役から750周年にあたり、そういった中で、過去の悲しい歴史を乗り越えて交流を深めたいとの考えのもと、本市と姉妹提携ができないかとの文書を託されたとのことでありました。このことについては、商工・観光等の分野をはじめ、まずは民間での交流を行っていただき、今後の動向等注視しながら、検討してまいりたいと考えております。

## 2. 交流人口の拡大

### (1) 観光振興について

長崎県観光統計調査における本市の令和4年の年間観光客延べ数は、速報値で27万2,083人、対前年比120.3%であり、徐々にはありますが、ウィズコロナの考えのもと、観光需要回復の兆しが見える結果となりました。

本年のゴールデンウィークの乗降客数は、対前年比124%超えの状況の中、本市の観光需要のさらなる起爆剤として、本年2月会議で議決いただいた観光需要喚起対策事業について、島外の方を対象に、額面3千円の宿泊券を1千円で購入できるプレミアム付き宿泊券「壱岐DEお得に泊まろう宿泊券」の利用を5月8日から開始し、5月末現在で4千泊分を販売しております。

また、対馬市との共同事業である壱岐市・対馬市周遊ツアー送客支援事業についても、5月末現在で1万2千人泊を超える申請をいただき、既に1,927人の方々が本市で宿泊していただいております、好調なスタートとなっております。

スポーツ合宿については、女子バスケットボールの三菱電機コアラーズが  
たかだ ひろひさ  
高田 紘久 新ヘッドコーチの下、チーム16名で5月27日から6月2日までの7日間、2年連続3回目となる合宿を実施していただきました。

合宿期間中には、市内の小学、中学、高校生を対象としたバスケットボールクリニックを2回開催いただき、一流に学ぶ機会の創出と競技力向上にご支援いただいたところであります。今後も引き続き、積極的なスポーツ合宿誘致に努めてまいります。



次に、6月4日に開催しました本市の一大イベントである壱岐サイクルフェスティバルは、今年で第35回という節目に加え、壱岐市市制施行20周年を記念して開催する大会として、大会名称を一新するとともに、招待選手及びツール・ド・沖縄参加権枠の拡充など、大会をより一層盛り上げる取組を行ったところであります。大会名称については、長い歴史を持つ本大会に新たな風を取り込み、10月に開催されるツール・ド・九州をともに盛り上げたいという思いから、ツール・ド・壱岐島<sup>いきのしま</sup>へ改称しております。

北は宮城県から南は沖縄県まで、島内外410名の選手がエントリーされ、昨年比89人増でありました。

当日は一部交通規制を行い、市民皆様にはご不便をおかけいたしましたが、事故等も無く盛会裏に終了することができました。壱岐市消防団並びにボランティアスタッフをはじめ、多くの皆様のご協力、そしてご協賛いただきました各企業の皆様のご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

海外からの誘客（インバウンド）については私自身、5月9日から10日の日程で壱岐市観光連盟会長とともに、台湾・台北市へ出向き、本市への誘客セールスを行ってまいりました。現地では、訪問を大いに歓迎していただき、早速本年8月、9月、10月に本市への団体客をご送客いただく運びとなり、特に10月にお越しになる団体は、30人規模で10日以上滞在するロングステイの計画であるとのことであります。

日本国内だけでなく海外においても、アフターコロナによる観光需要が高まっており、各地で激化する自治体間競争の中で、本市への誘客活動

を活発化させ、本市経済のさらなる活性化に取り組んでまいります。

### 3. 産業の振興

#### (1) 農業の振興について

令和4年度の本市農業生産額は、前年比90.6%の56億7千百万円となり、そのうち、畜産物が42億2千6百万円で、水稻については、栽培面積776ヘクタール、販売金額は6億6千4百万円となりましたが、高温耐性品種への作付け転換が進んでおり、「つや姫」、「にこまる」、「なつほのか」の生産面積は472ヘクタールと全体の約61%に達しております。

アスパラガスについては、栽培面積12.9ヘクタール、販売金額は2億8千5百万円で、平均反収2,404kgは16年連続県下1位であり、施設園芸振興作物の柱となっております。

畜産業については、令和4年度の子牛平均価格は64万8千円と前年比11万7千円安となりましたが、子牛出荷頭数は4,152頭と前年度より171頭の増となっております。

一方で、6月1日、2日に開催された子牛市では、4月の平均価格と比較し、5万1千円安の57万5千円となりました。

また、JA壱岐市肥育部会の本年4月の枝肉単価は、前年同月と比較し、17円安の2,428円となりましたが、その後、枝肉単価は下落傾向にあります。畜産農家においては、飼料価格の高騰を受け、生産費の高騰による経営を圧迫する状況となっております。

次に、農業を取り巻く環境が厳しさを増している中、壱岐市農協

においては、農業者の所得安定・向上と生産拡大に向け、2030年の販売高100億円を目標とする第9次営農振興計画が策定され、目標達成に向け各営農振興事業に取り組んでおりますが、この振興計画目標達成に向けた機運を高めるため、4月25日に壱岐農業振興大会が開催されました。

ウクライナ情勢等に影響される物価高騰による生産費の増大は、全ての農産物への影響が懸念されることから、引き続き関係機関と連携し、国・県の緊急経済対策及び支援制度を最大限活用してまいります。

また、農業の持続的発展には、担い手対策が最重要課題でありますので、地域農業の牽引者である認定農業者の育成、新規就農者の確保、集落営農の組織化、集落営農法人の支援等に継続して取り組んでまいります。

## **(2) 水産業の振興について**

令和4年度の市全体の漁獲量及び漁獲高を前年と比較いたしますと、漁獲量は8.7%減の2,327トン、漁獲高は27.6%増の26億4千万円と漁獲量は減少しておりますが、漁獲高は増加しております。これは、ケンサキイカ漁が好調で単価が良かったことが要因であります。他の魚類については、漁獲量も減少し、魚価についても低迷が続くなど漁家及び漁協の経営に深刻な影響を与えております。

磯焼け対策については、令和元年度から実施している磯根資源回復促進事業に加えて、令和2年度に設立した壱岐市磯焼け対策協議会が実施する各種事業により、この4年間で植食性魚類であるイスズミを27,455尾、アイゴを25,064kg駆除しております。

例年実施している定点調査の結果、一部海域で大型海藻の再生など大きな効果に繋がっており、引き続きイスズミ等駆除の取組を進め、早期の藻場回復を目指してまいります。

意欲ある担い手育成支援事業の認定漁業者については、現在131名を認定しており、県の次代を担う漁業後継者育成事業による漁業新規就業者は3名が研修中であります。今後も制度の積極的な活用により、漁家経営の改善及び新規就業者の確保につながることを期待しております。

## 4. 市民

### (1) 新型コロナウイルスワクチン接種について

国は、新型コロナウイルスの感染が再び拡大する可能性があることから、重症化リスクの高い方々へ重症化予防を目的として、追加接種を特例臨時接種として位置づけ、令和5年度の接種に向けた対応を自治体へ求めています。

本市においては、5月から8月にかけて行う「春開始接種」について、壱岐医師会のご協力により接種体制を整え、既に5月から接種を開始しております。対象者は初回接種を終了した65歳以上の方及び5歳以上65歳未満で基礎疾患を有する方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方となっており、対象となられる市民皆様へは、順次通知にてご案内を行っております。

また、9月から12月にかけて行う「秋開始接種」については、初回接種を終了した5歳以上の方が全て対象となります。

令和5年度接種に向けた年間スケジュールが示されたことにより、接種にかかる経費について、今回、所要の予算を計上いたしております。

市民皆様には、基本的な感染症対策を実施いただきながら、重症化を防ぐ観点から、ワクチン接種をご検討いただきますようお願いいたします。

## **(2) 市税等の収入状況について**

令和4年度の市税の収入状況については、

現年度分は、調定額 22億8,420万円  
に対し、収入額 22億6,094万円  
で、収納率は98.98%、  
前年度98.76%を0.22ポイント上回りました。

滞納繰越分は、調定額 1億4,612万円  
に対し、収入額 2,339万円  
で、収納率は16.01%、  
前年度15.35%を0.66ポイント上回りました。

また、国民健康保険税については、

現年度分が、調定額 5億6,265万円  
に対し、収入額 5億4,704万円  
で、収納率は97.22%、  
前年度96.34%を0.88ポイント上回りました。

滞納繰越分は、調定額 1億4,858万円  
に対し、収入額 2,376万円  
で、収納率は15.99%、

前年度16.48%を0.49ポイント下回りました。

以上が令和4年度市税等の収入決算額であります。

令和4年度から導入したコンビニエンスストア及びスマートフォンアプリでの納付については、1万8,799件の利用実績でありました。さらに本年4月から、QRコード決済の導入により、クレジットカードを利用した納付も可能となりましたので、広報紙、ケーブルテレビ、各戸へのチラシ配布等によりお知らせしております。

また、市では口座振替納付を推進しており、口座振替することで、窓口等に出向く手間が省けることや現金を持ち歩く必要がないことで安全・安心な納付につながることで、金融機関窓口やコンビニエンスストア等での納付時に市が負担する手数料を抑制できることなどのメリットがありますので、市民皆様には口座振替での納付についてご協力をお願いいたします。

今後も、市行政の基幹財源である税の確保と公平・公正な税務行政の実現に向けて取り組んでまいりますので、市民皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

### **(3) 長崎県壱岐病院の精神科病床再開について**

長崎県壱岐病院の精神科病床再開については、市内の精神科病床の休床を受けて、長崎県病院企業団との協議を進めております。長崎県病院企業団においては、令和7年4月再開を目途に準備をされており、その中で、精神科医の確保並びに看護師等医療従事者の確保、教育、研修等、多くの課題解決に向けた取組がなされております。

まずは、最重要となる精神科医確保のため、向原院長とともに関係

大学病院へ、医師派遣要請を行ってまいりました。今後も、長崎県及び長崎県病院企業団と連携し、鋭意、課題解決に取り組んでまいります。

## 5. 教育

### (1) 長崎県選抜チームの全国大会優勝について

3月27日から29日にかけて、熊本県益城町民グラウンドで開催された第19回都道府県対抗全日本中学生男子ソフトボール大会において、本市から、芦辺中学校の井本<sup>いもと こうた</sup>康太<sup>さん</sup>、浜田<sup>はまだ</sup>竜成<sup>りゅうせい</sup>さん、郷ノ浦中学校の加勢田<sup>かせだ りくう</sup>莉空<sup>さん</sup>、竹下<sup>たけした えいたろう</sup>瑛汰郎<sup>さん</sup>の4名が長崎県選抜チームとして出場し、長崎県選抜チームの6年ぶり2度目の優勝に貢献されました。

### (2) 令和5年度の市内小・中学校の教育活動について

令和5年度の市内小・中学校においては、適切に新型コロナウイルス感染症対策に努めることで、教育活動を維持することができております。

学校行事について、5月28日に小学校9校で運動会を実施し、内容等についても、この数年間の経験を生かした取組がなされております。

中学校では、5月20日に中体連球技・剣道大会を実施し、また、陸上・相撲大会については6月17日に実施予定であります。

今後も、学校が児童生徒の学びを保障する場であり続けるため、第5類になった新型コロナウイルスを含め、感染症対策を適切に行っていくとともに、学校が大切な授業や教育活動に専念できるよう、引き続き支援してまいります。

### **(3) 壱岐市離島留学・いきっこ留学検討部会の設置について**

本年3月に発生した高校の留学生の悲しい事案を受け、長崎県は、背景に何があったのかを検証するとともに、改めてこの留学制度の運営上の課題について、現行制度を総括的に検証し、必要な措置を講じていくため、「これからの離島留学検討委員会」を設置し、4月20日に第1回会議が開催されました。

本市としましても、県と連携し「壱岐市離島留学・いきっこ留学検討部会」を設置し、本検討部会において、制度の現状と課題を検証しながら、離島留学生が安心した生活を送るとともに、制度が持続可能なものとなるよう必要な措置を検討していくため、5月27日と6月7日に部会を開催いたしました。

委員の皆様からは、留学制度の課題や改善案について、多方面から具体的なご意見をいただいたところであります。

高校の留学制度、そして壱岐市のいきっこ留学制度が、壱岐市での学校生活を望む子どもたちが健やかに成長できる制度となるよう検討・協議を進めてまいります。

## **6. 防災、消防・救急**

### **(1) 防災対策について**

近年、地球温暖化に伴う気候変動等により、台風の勢力が増大するとともに、大雨の頻度も高まり、土砂災害等自然災害の増加及び激甚化が懸念されています。

昨年9月には、大型台風11号及び14号が接近し、14号にお



いては、県内全市町に災害救助法が適用されるなど、危機が迫る状況に見舞われました。

災害の発生を完全に防ぐことは困難ではありますが、災害の発生に備え、災害対策業務の参考とするため、去る5月25日には、官民の関係者約40名参加の下、市内危険箇所及び防災工事箇所のパトロールを実施いたしました。

引き続き、危機管理は行政の最大の責務を念頭に、関係機関と十分連携を図り、市民皆様の安全・安心を最優先として災害対策に万全を期してまいります。

## (2) 消防・救急について

本年度、消防本部等の現行の機器更新による消防指令センター総合整備事業を予定しております。このことにより、119番通報をはじめとするあらゆる通報への迅速な対応と、いち早く災害現場に到着し、安全で確実な消防救急救助活動への対応を図ってまいります。

また、本年度は消防団の編成替えの年であり、4月1日、新団長に、やすかわ あきひこ安川 昭彦 氏が就任されました。安川新団長からは、新しい体制の下、新しい感覚を持って壱岐の防災に当たるという並々ならぬ決意が述べられたところであります。

一方で、消防団員数は、年々減少しており、昨年同時期に比べ65名減少の798名となっております。市としましても、団員の確保に努めるとともに、消防団をはじめとする関係機関等とさらなる連携を図り、防災体制に万全を期してまいります。

本年5月末現在の災害発生状況は、火災発生件数15件、救急発生

件数794件であり、先日、郷ノ浦町で発生した建物火災では男性1名が亡くなりました。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様へ心からお見舞い申し上げます。

野焼き、しくり焼きに伴う火災が頻繁に発生しております。草木を焼却する場合は必ず消防署に届出を行い、確実に消火を確認いただくなど、火の取扱いに十分注意していただきますようお願いいたします。

また、今後、気温の上昇とともに、熱中症による救急搬送の増加が危惧されますので、屋外での作業の際は、こまめな水分補給を行っていただくとともに、室内においても熱中症の恐れがありますので、エアコンや扇風機を有効に使用し、体調管理に十分ご注意くださいようお願いいたします。

## 7. 議案説明

次に、議案関係についてご説明いたします。

### (1) 補正予算について

本議会に提出した令和5年度補正予算の概要は、

一般会計補正額 1億3,070万3千円

となります。なお、現計予算と合算した本年度の一般会計予算は、

245億1,845万5千円

となっております。

### (2) その他の議案について

本日提出いたしました案件の概要は、条例の専決処分の報告2件、

令和4年度予算の専決処分の報告1件、予算の繰越計算書の報告3件、損害賠償の額の決定に関する専決処分の報告3件、条例の一部改正に係る案件5件、計画の策定1件、その他の案件1件、令和5年度予算案件1件であります。

何とぞ慎重にご審議をいただき、適正なるご決定を賜りますようお願い申し上げます。

## 8. おわりに

以上をもちまして、3月会議以降の市政の重要事項また政策等について申し述べましたが、様々な行政課題に対し、今後も誠心誠意、全力で取り組んでまいり所存でありますので、議員各位並びに市民皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年6月15日

壱岐市長 白川博一